



ロウバイ

# おんが 遠加良 議会だより

2012  
vol.123  
2 月号

新成人と議長の新春対談 …… 2

## 12月定例会

補正予算 …… 4

人事議案・条例改正など …… 5

意見書・請願・陳情・臨時会 …… 6

議員研修会 …… 7

一般質問 …… 8

柴田征一郎町議会議員旭日双光章受章 …… 14



おんが得トクまつり  
平成23年12月18日

# 新春対談

## New Year Interview



### 謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
今回、成人式を迎えられた丹後博之さんと対談の機会をいただきました。その対談の一部を紹介させていただきます。

遠賀町議会 議長 奥村 守

#### ■二十歳になって

**議長** 成人おめでとう。二十歳になった感想はどうですか。

**丹後さん** 「成人になった」という実感はあまりありませんね。でも、やっぱり大人の仲間入りをしたからには、責任というものがついてくると考えています。

**議長** 二十歳になるということは、権利と義務が発生します。そして、しっかり自分の意思を伝えることが大切になってきますよ。

#### ■二十歳の夢

**議長** 将来は、何を目標とするのか。

指すのかな。

**丹後さん** 宇宙関係の仕事がしてみたいです。例えば、国際宇宙ステーションを造ってみたいと考えています。夢の宇宙に向かっていきたいですね

**議長** 宇宙ですか。私が二十歳のときは、海上保安官になりたかったです。でも、身長が足りなくて受験できなかった。丹後さんには、夢をかなえて欲しいな。

#### ■遠賀町の存在

**議長** あなたにとって、遠賀町はどんな存在ですか。

**丹後さん** ふるさとという

のは愛着があるので、

僕は、遠賀町に対する誇りを大切にしたい。都会では、商業施設などがたくさんありますが、自然に対する思いが、自然に対する思いは忘れがちです。遠賀町は自然が豊か、それでいて商業施設にも近くて不便な思いはしたことはありません。

**議長** 私も出張で東京によく行くけど、コンクリートと人ばかりで空気も悪い。その点、遠賀町は自然が残っているよね。

**丹後さん** それから、遠賀町の夏まつり。これはすごいと思います。町

のイベントとしては、一番だと思っています。

#### ■遠賀町の若者が集まる

**議長** 確かに近郊からすごい数の若者が集まる。どこからこんな

若者が集まって来るのかと思うくらいの人出だよ。

**丹後さん** 千人踊りで盛り上がるって、締めの花火でみんなが見とれてる姿はいいですね。

**議長** まつりがあると

そこが郷土なんだよね。イベントをすると町が変わってくるのか



# 希望に満ちたまちづくりに向けて 新成人と議長



**丹後 博之さん**（遠賀川・九州大学工学部2年生）

現在、日本宇宙少年団のサイエンスボランティアとして、子どもたちと星や宇宙飛行士の話をしたり、手作りロケットの制作をしたりとボランティア活動もしている。

●将来の夢

国際宇宙ステーションの建設や子どもたちに物づくりの楽しさを伝え、子どもたちの夢を支えるような宇宙関係の仕事をする

なと思うよね。

■これからのまちづくり

**丹後さん** これからの遠賀町を担っていく世代として、町の活性化を一つの目標としていた

きたいと思っ

す。その中で僕は、歴史を大切に

あつて欲しいです。何もかも忘却して新しくするのはなく、遠賀町の長い歩みの中で大切な出来事を忘

れずに「絆」と「地域のつながり」を大切に

トになると思

**丹後さん** そのために町民の声

■議長

現在も議員が個別活動

紙で意見を

りして

また、本会議のライブ中継

を



**丹後さん** これからの遠賀町の将来

に

■議長

は、次の世代の

に

抱

どのよう

■議長

まず、議会の

と

ある

■新成人へエール

昨年を象徴

た。人は、一人

話

る

です。

また、どんな環境

も逃げる

性

の

感、そして

を

ら

い



12月定例会は、平成23年12月6日から20日までの15日間開催された。議案は、平成23年度一般会計・特別会計補正予算や条例の一部改正など16件が上程され、慎重審議を行った。

平成23年度

## 一般会計補正予算

8074万2000円増額

(全員一致可決)

第6回目の補正予算は、8074万2000円を増額し、予算規模は65億8232万9000円になりました。

### ■主なもの

#### 総務費（退職手当・その他）

2823万3000円

職員の退職手当や休職に伴う臨時職員の社会保険料および嘱託職員への給料によるもの。

#### 消防団員公務災害補償組合負担金

191万6000円

東日本大震災の発生に伴い、多くの消防団員が被災され、組合予算に不足が生じたため、平成23年度に限り負担金を増額するもの。



被災地の様子

#### 国民健康保険特別会計繰出金

1644万1000円

医療費の増加に伴い予算不足が生じたため、赤字補てんとして一般会計から繰り入れるもの。

#### 教育費（総合運動公園管理費）

23万1000円

コミュニティセンター多目的ホール舞台の背面ガラスを交換するもの。



破損したガラス

#### 経済センサス費

66万2000円

全国一斉に工業・商業などの実態を調査する統計調査が実施されるため、経費を計上するもの。

#### 障害者施設費の返還金

809万2000円

障害者支援センターさくらの平成22年度負担金が確定し、余剰金が生じたため返還するもの。

#### 後期高齢者医療療養給付費負担金

557万5000円

医療費の増加に伴い予算不足が生じたため、広域連合へ増額負担するもの。

#### 子ども手当システム改修費

218万9000円

子ども手当の制度改正に伴い、電算システムを改修するもの。

#### 重度障害者医療費

545万3000円

医療費の増加に伴い予算不足が生じたため、増額するもの。

#### 児童虐待防止対策緊急強化事業費

39万4000円

第一子が0歳児の保護者を対象に、子育てに自信を持つていただくための育児支援プログラム事業を開催するもの。

#### ひとり親家庭等医療費

449万5000円

医療費の増加に伴い予算不足が生じたため、増額するもの。

#### 住宅用太陽光発電設備設置事業補助金

175万円

当初予算計上していた件数に達したため、25件分を追加するもの。



住宅用太陽光発電設備

# 特別会計補正予算

平成23年度

国民健康保険事業特別会計補正予算

5259万6000円増額

(全員一致可決)

今回の補正は、医療費の増加に伴う増額分3368万2000円と前年度医療費の確定に伴う交付金償還金1891万4000円です。

なお、歳入不足のため一般会計から1644万1000円繰り入れます。

## 人事議案

人権擁護委員

(全員一致適任)

織田百代さんの任期満了に伴い、再度、法務省に推薦するもの。

織田 百代さん

●任期 平成24年4月1日から3年間

教育委員会委員

(全員一致同意)

大村信義教育委員(教育長)の任期満了に伴い、福岡県教育庁北九州教育事務所長の中尾治実さんを任命するもの。

中尾 治実さん

●任期 平成24年1月1日から4年間

## 条例改正

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

―障害者自立支援法の改正に伴うもの―

国の法律が改正されたことに伴い、遠賀町の条例で引用されている部分を改めるもの。

重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正

一部改正

(全員一致可決)

―障害者自立支援法および

児童福祉法の一部改正に伴うもの―

国の法律が改正されたことに伴い、遠賀町の条例で引用されている部分を改めるもの。

## 議会提出の議案

基地対策特別委員会の設置に関する決議

(全員一致可決)

―基地対策特別委員会を設置―

芦屋基地内の整備に

伴う農作物等被害に対する調査を行うため、全議員で構成する「基地対策特別委員会」を設置するもの。



芦屋基地

## 第5次遠賀町総合計画審査特別委員会

第5次遠賀町総合計画(基本構想)の策定

(全員一致可決)

今後10年間(平成24年度～33年度)の遠賀町のまちづくりの方向性を示すために策定された「第5次遠賀町総合計画(基本構想)」に対し、議会は全議員で構成する「第5次遠賀町総合計画審査特別委員会」を設置しました。

審議の中では、「町の特徴である『豊かな水と緑の自然を守る』『古くから受け継がれている農業の育成』『人情味あふれる風土』を残しながら、『住み続けたい』『住みたい』と感じるまちづくりへの施策がどのように計画されているか」を主に審議しました。

今後議会は、基本構想に基づいて策定される基本計画や実施計画をチェックしながら、計画実現を目指していきます。



新たなまちづくりを目指す遠賀町

## 議会提出の意見書

### 健全な国民健康保険制度の構築を求める

(賛成多数可決・関係機関に送付)

国に対して国民が安心して医療を受けることができるよう、国庫負担の引き上げを行う等、健全な国民健康保険制度の構築を図ることを強く要請する。

## 請願

公共交通機関の存続へ向け、JR九州に係る経営支援策等の継続を求める意見書に関する請願

(賛成多数採択・意見書を関係機関に送付)

### 【意見書の主な内容】

政府に対し、次年度の税制改正において、左記の事項について実施されるよう強く要請する。

(1) JR三島・貨物会社に係る固定資産税、都市計画税を減免する特例措置を恒久化する。

(2) JR三島・貨物会社をはじめ、鉄道事業各社における鉄道車両、軌道用車両などの動力源用軽油に対する軽油引取税



遠賀町を走るJRの列車

については、現在の減免措置を継続すること。  
(注) JR三島 JR北海道とJR四国、JR九州のこと

### 燃油関係の税制措置に関する請願

(賛成多数採択・意見書を関係機関に送付)

### 【意見書の主な内容】

政府に対し、次の措置を講じるよう強く要請する。

(1) 軽油引取税における農業用軽油の課税免税措置について恒久化するとともに、課税免除の対象を拡大すること。

(2) 農業用A重油に対する石油石炭税の免除、還付措置を恒久化し、生産コストの低減による農業者の経営安定等を確実に担保すること。

(3) 地球温暖化対策税については、A重油に限らず軽油も含め、農業者の負担が増加しないよう措置を講ずること。



軽油を使用するトラクター

## 陳情

### 郵政改革法案の早期成立を求める陳情

(継続審査)

国の動向を見極めるために、継続審査とした。

## 11月臨時会

### 補正予算

平成23年11月11日開催

### 平成23年度一般会計補正予算

1億1178万4000円増額

(全員一致可決)

### ■主なもの

#### 庁舎バリアフリー化工事請負費

3858万1000円

庁舎のエレベーター設置とトイレやスロープを改修するもの。

#### ふれあいの里大規模改修工事請負費、備品購入費

5640万2000円

ふれあいの里の空調・電気設備等を改修するもの。

#### 公有財産購入費

1597万2000円

老良・上別府線改修事業の一環として町道用地を取得するもの。

### 条例改正

平成23年11月28日開催

#### 遠賀町一般職員の給与に関する条例等の一部改正

(賛成多数可決)

— 人事院勧告による給与の引き下げ—

主に40歳以上の職員を対象に、給与を0.2%引き下げるもの。

## おわびと訂正

遠賀議会だより平成23年11月号の記事に誤りがありました。

おわびして訂正いたします。

6ページ

「特別会計補正予算」

**【誤】**

農業集落排水事業  
800万円

**【正】**

農業集落排水事業  
80万円

## 賛否が分かれた議案

(○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

会議名	議案名	議席番号													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名		浜岡	萩本	織田	二村	仲野	平見	加藤	中野	萩尾	三原	古野	堅田	舩添	奥村
11月臨時会	遠賀町一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○
12月定例会	健全な国民健康保険制度の構築を求める意見書案の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
12月定例会	公共交通機関の存続へ向け、JR九州に係る経営支援策等の継続を求める意見書に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
12月定例会	燃油関係の税制措置に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○

※全員一致の議案は除いています。

## 町村議会広報研修会

平成23年11月22日



城市 創さん

福岡県自治会館にて、城市創さん(エディター・城市創事務所代表)を講師に迎え、「議会だより作成のポイント」と「議会広報クリニック」の二つのテーマに添った研修を受けてきました。

特に「議会広報クリニック」では、他町の広報誌が紹介され、これからの広報作りに活用できる部分をたくさん吸収しました。

普段、議会だよりを作るとき、どうしたら一人でも多くの町民の方に読んでもらえるかを、私たち広報委員は試行錯誤しています。今回の研修の内容を、今後の広報誌作りに役立てたいと思います。

### 議員としての姿勢を再確認

遠賀町議会では、奥村守議長から「議員としての姿勢」についての訓示があり、住民の皆さんの負託を受けた議員として、自らを律し、責務に恥じない行動をとることを再確認しました。

議員研修会…しっかり学んできました

## 遠賀郡町議会議長会議員研修

平成23年10月21日

水巻町中央公民館にて、講師に浦野秀一さん(あしコミュニティ研究所代表)を迎え、「これからのまちづくりにおける議員の役割」というテーマで講演していただきました。



浦野 秀一さん

浦野さんは、行政と議会の関係について、「地方議会における現行の二元代表制は、よく『車の両輪』に例えられるが、本来、議会と行政は機関対立関係にあり、議会はチェックと議論をすべきで行政の下部組織ではない」と主張されました。

この研修で、行政と対等の関係を維持していくためには、政策議会を目指すことの必要性を痛感しました。

また、これからは議員に対して、専門的な知識がますます求められます。私たち議会は、行政と政策を競い合い、住民の皆さんの立場に立って議論し、よりよい方向性を見出すよう努力し続けなければ…と考えました。

(注) 二元代表制

住民が自治体の首長と議会の議員を、それぞれ別の選挙によって選ぶ制度



遠賀川駅南は、秩序ある  
開発を行うべきだ



おだ たかのり  
織田 隆徳 議員



乱開発を防止するため地権者  
と協議していきたい



整備が進む駅南の道路・広場

遠賀川駅南は、どのよ  
うな開発をするのか

**議員** 遠賀川駅南は、道路や自由通路の工事が進められており、着々と基盤整備が進んでいるが、どのような開発計画案を持っているのか。

**町長** 道路、自由通路、駅南広場、駅南駐輪場は、平成26年度完成を目標としている。駅周辺の将来像は、遠賀川駅を中心とした交通結節機能を強化し、駅北側の商業地域（遠賀川地区）と駅南側を新たな商業・文化地域となる定住拠点地区（商業・文化施設を備えた住宅市街地）を目指している。

開発の方法は、幹線道路や関連施設（上下水道など）の整備は町が行い、土地の開発は組合施工の区画整理

事業が民間業者による  
開発が考えられる。

**議員** 道路が完成すれば、秩序ある開発が危ぶまれる。今の段階で地権者の協力を得る努力をすべきだ。

**町長** ある程度の用途を決めて、地権者総会で協力をお願いする。

駅北地域の活性化の  
方針・位置付けは

**議員** 駅北側（遠賀川地域）は、商店街を含め衰退しているが、駅南の開発と関連して北側地域の活性化の方針および当該地域の位置付けは、どのように考えているか。

**町長** 駅前という有利な立地条件を前面に出して、中高層マンションや一体的な商業ビルなど土地の高度利用化が想定される。駅前商店街の抱える問題も含めて、商工会や地権者

と協議し活性化対策を  
講じる必要性があると  
考える。

小中学校の児童・生  
徒数の予測は

**議員** 人口の増加は予測されないが、将来的な小中学校の児童・生徒数の予測をどのようにされているか。

**教育長** 遠賀川駅南開発や木守北地区の開発で増加すると予測している。

小中学校の校区変更・  
適正配置の考えは

**議員** 小中学校の校区変更および適正配置に関してどう考えているか。

**教育長** 現段階では、校区変更は考えていない。今後、各行政区の児童・生徒数の推移を教育委員会でも状況分析し、方向性を出していきたい。





はま おか 濱岡  
みね さと 峯達 議員



## 駅南開発に伴うインフラ整備は



## JR遠賀川駅南口等の供用開始によって道路沿線の開発が可能となる



開発が進む老良・上別府線

駅南の最終的グラ  
ンドデザインは

**議員** 最終的なグラ  
ンドデザインはどのよう  
に描かれているか。

**町長** 土地区画整理事  
業の取り組み段階で過  
去に存在していたが、  
現時点では最終的グラ  
ンドデザインを描くま  
では至っていない。

**議員** 駅南の開発は、  
住宅地にするのか商業  
地にするのか。

**町長** 大規模店舗を持  
ってくるような開発、  
それを想定しない第一  
種、第二種の住居地域  
の形でやれば色を塗  
ることはできる。

**議員** 都市計画用途地  
域の県との協議はどこ  
まで進んでいるか

**町長** 用途地域の見直  
しで大規模集客施設等  
を想定しないのなら、  
第一種、第二種住居専  
用地域として用途見

直しは可能で用途の見  
直しについて県との協  
議をすすめている。

**議員** 町の考え方や地  
権者の考え方を踏まえ  
て町の審議会に諮って  
はどうか。

**町長** 駅南の町づくり  
協議会との同意に基づ  
く駅南全体のグラント  
デザインを提示し進め  
て行きたい。

### インフラ整備の 取り組みは

**議員** 道路ができた後、  
下水道事業の着手は、  
いつごろか。

**町長** 下水道整備につ  
いては、駅南地区は公  
共下水道全体計画の区  
域に入っているが、区  
域の開発時期、開発形  
態が決まっていないの  
で、現在の事業認可区  
域には入っていない。

**議員** 工事の手法に応  
じた、シミュレーショ  
ンはされているか。

**環境課長** 工事の手法と  
して、開発者から負担  
金を頂く、国庫補助事  
業で実施する手法や開  
発者で施工して、完成  
後町に帰属を受けると  
法があるが、すべて実  
施に当たっては開発者  
等との協議で決めてい  
く。

**議員** 行政としてA  
案・B案・C案等のた  
たき台に対してインフ  
ラ整備をするといった  
ことを議会に提示をし  
ないと理解しづらい。

**町長** 今、議員が言う  
ように、自分もそのと  
おりだと思うが、A案・  
B案があるかと言われ  
れば、今はまだない。

**議員** 地権者の方が納  
得できるような形で説  
明しながら、また、わ  
れわれ議会にも提示し  
ていただきたい。

(注) グラントデザイン  
長期にわたって行われる  
壮大な設計、計画



## 空き店舗問題や後継者不足問題の具体的な対策は



なかの しんざぶろう  
**仲野 新三郎** 議員



## 遠賀町商店街進行計画に基づき取り組んでいる



空き店舗が点在する  
駅前商店街

### 商業の振興は

**議員** 空き店舗問題や後継者不足問題など、それぞれの問題を解決していかなければ活性化できないと思うが、遠賀川駅前と浅木にスーパ跡地があるが企業などを誘致する考えはないか。

**町長** 駅前については、高度な利用価値のある土地なので、活性化も含めて町有地があれば政策が練れる土地だと理解している。浅木については、色々と問題があつて町としては動けない。

**議員** 住民サービスの一環として、行政が積極的に誘致していただきたい。

現在、商店街活性化事業に活用できる補助制度はあるか。

**行政経営課長** 宝くじ助成

事業などを、商工会と行政が一緒になって積極的に活用していきたい。

**議員** 既存の空き店舗を高齢者ふれあい施設や、環境リサイクル施設などの非商業施設として、行政や社会福祉協議会で運営する考えはないか。

**町長** 可能性のあるところについては話を進めていきたい。

**議員** 商店街振興計画の中には、後継者不足問題がないが具体的な対策はあるか。

**町長** 新たな起業家、創業を希望される方々に情報を発信していきながら商工会と一緒に取り組んでいきたい。

**議員** 商店街の活性化に関する条例を本町でも制定する考えはあるか。

**町長** 今後、勉強して検討していく。

### コミュニティバスの安全管理は

**議員** 運行記録や車両点検記録などは、毎日チェックしているか。

**まちづくり課長** 都市計画係で毎日行っている。

**議員** アルコールチェックや日々の体調についても管理するべきだ。

**町長** アルコールチェックはグループごとに行っている。体調管理については、委託業者が年1回健康診断をしている。

**議員** バスの安全運行のために、ドライブレコーダーを導入する考えはあるか。

**町長** 委託業者と協議して検討していく。

**議員** コミュニティバスの利便性の向上と安全の確保をお願する。



はぎもと えつこ  
**萩本 悦子** 議員



**防災行政無線の聞こえが悪い。対策は**



(注)  
**エリアメールを導入する**



自主防災組織主催による  
防災教室(中央区)

## 防災対策は

**議員** 防災行政無線は音が割れて聞き取りにくい。また豪雨の時には、室内では聞こえない。対策は。

**町長** 「エリアメール」の導入手続きを進めているところだ。

**議員** エリアメールは、東日本大震災の前は約50の自治体しか導入していなかったが、平成23年12月7日現在、全国の約650の自治体がエリアメールを導入している。県内でも福岡市・北九州市・宗像市など約20の自治体が入力している。

早急な導入を要望する。

## 電力削減の取り組みは

**議員** 福島第一原発の

事故以降、全国の前発の運転停止が継続し、電力不足の長期化は避けられそうにない。

本町の公共施設における節電の取り組みは。

**町長** 取り組みとして①空調管理を徹底し、夏場は28度、冬場は19度に設定している。

②庁舎、ふれあいの里などの施設内の照明器具を省エネルギーのものに改修している。

③昼休み・休日・時間外勤務時の庁舎内では、可能な限り消灯に努めている。

④パソコンやコピー機器については省電力モードに設定している。

⑥自動販売機設置者へは、節電に対する問題提議を行った。

これらの取り組みによって平成22年度と比較すると庁舎では、85

%、ふれあいの里では86%の使用量となっている。今後も取り組みの継続と強化に努めたい。

**議員** 電力削減においては、「可視化・見える化」が大きな効果をもたらす。職員の節電へのモチベーションを上げるためにも「見える化システム」の導入を提案する。

**町長** 私もそのように思う。「見える化」することによって全職員に現状をしっかりと認識させることが大事だと思っている。早急に検討していく。

(注) エリアメール

気象庁が配信する緊急地震速報や国・地方自治体が配信する災害・避難情報を受信することができ、受け取る側には通信料や情報料は無料



## 通院費を小学3年生、入院費を中学3年生まで無料に



かた だ しげる  
堅田 繁 議員



平成24年の4月は無理なので、10月に向けて作業を進めている

(別表1) 周辺自治体の乳幼児医療制度状況

	遠賀町	岡垣町	水巻町	芦屋町	中間市
通院費	就学前	就学前	小学3年生	※小学3年生	小学3年生
入院費	小学6年生	※中学3年生	中学3年生	※中学3年生	中学3年生

※印は、平成24年4月から実施予定。

### 乳幼児医療制度の充実を

**議員** 本町が、中間市・遠賀郡4町(以後は周辺自治体)の中で、先駆けて乳幼児医療費制度(以後は医療費)の充実に力を入れてきたと思うか。

**町長** そう思っている。堅田議員からの質問があつてこそ取り組んできた。

**議員** 私は、これまで医療費の充実を訴えて、6度にわたり一般質問で取り上げてその実現を執行部に求めてきた。町長選挙から一年が経過したが、医療費の充実など、掲げたその選挙公約を実現したいという気持ちに変わりはなにか。

**町長** 変わりはない公約のとおりだ。前町長時代から継続している政策だ。

**議員** 町長として、周辺自治体の首長さんに足並みを揃えた、医療費充実の働きかけを行っているか。

**町長** 町長会や広域事務組合の理事会などで、本町の考え方は述べている。同じ医療圏の中で、格差があつてはい

けない。子育て支援が大事な政策だと思つている。財源の許す範囲内で努力させていただいている。

**議員** 本町が、医療費の充実を周辺自治体の中でリードしてきたのに、皮肉なことに逆転現象が起きている。(別表1参照) 今度は、本町が足並みを揃える時期ではないのか。

**町長** そのとおりだ。

本町だけちょっと足りないかと判断している。拡充に向けては、現在試算中なのでもう少し

時間がかかる。平成24年の4月は無理なので、10月に向けて作業を進めている。財源の裏付けが担保されれば、平成24年度の財政計画にのせられればと考えている。

**議員** 財源の裏付けは防衛施設周辺交付金事業をソフト面でも活用できるはずだ。

**町長** それに限定はしない。一般財源になるかもしれない。予算全体の中で調整させていただく。

**議員** 繰り返しになるが、医療費拡充の時期は、早く平成24年10月なのか。

**町長** 周辺自治体は拡充の方向なので、当然それが一つの考え方の期日になるだろう。

※このほかに、「買い物困難者」の解消についての質問も行いました。



はぎ お おさ み  
萩尾 修身 議員



## 子どもの成長に学校教育、地域社会との連携は不可欠



いろいろな分野の方と連携することにより教育力向上が図られるので進めていく



子どもたちと地域の方との  
楽しい交流風景

### 連携による教職員の意識改革は

**議員** 小中9か年を見据えた学力の定着と向上ということで家庭や地域の連携を実践しているが、それに伴う教職員の意識は。

**教育長** 地域や学校間の交流・連携する大切さは先生方も十分認識している。

**議員** 教師間の意思の疎通は、また新人教師に対してのフォローは。

**教育長** 県教委において新採用教員研修会が年20数回行われている。学校においても校長をはじめ経験豊富な先生方が日常指導されている。

### 浅木小と南中の小中一貫校の考えは

**議員** 浅木小と南中の小中一貫校を実現で

きるよう教育委員会の議題として取り上げ検討していただきたい。

**教育長** 検討することは重要だが今のところそこまでなっていないので小中の連携を重要にして推進していきたいと考えている。

**議員** 中学に進んで授業の進み方が早くなつたと感じるのか先輩・後輩の上下関係も厳しくなる。環境になじめず不登校になる。いじめも急増するということが現状として起きている。子どもたちのためにもぜひ取り組んでいただきたい。

### 大人に対しても自転車の安全教育を

**議員** 自転車関連の事故が交通事故全体の2割を占めている。町や学校は自転車に対する安全教育はどのように行っているか。また対

策は。

**町長** 自転車の通行環境の整備は十分とは言えないが利用者のルールの周知に関する対策について警察と連携しながら努めていきたい。

**教育長** 年一回折尾警察署や町内の自動車学校をお願いして交通安全教育を実施している。

**議員** 自転車に乗る機会の多い中学生以上に對しての講習会や教室を開き安心・安全のまちづくりをするべきでは。

**町長** 今から自転車は多くなると思うが、当然そういうものを含めた所でしっかり安全教室を組み入れた施策も入れていきたい。

※このほかに、暗い時のウオーキング対策についての質問も行いました。

# 柴田征一郎元町議会議員旭日双光章受章



奥村議長から記念品を贈呈される柴田さん

元町議会議員・柴田征一郎さんは、平成23年11月3日に、叙勲旭日双光章の栄に浴され平成23年11月10日皇居において、天皇陛下に拝謁されました。

昭和50年4月に初当選されて以来、36年の永きにわたり地方自治の発展充実に尽くされその間、本町議長長、福岡県町村議会議長会会長、全国町村議会議長会理事などを歴任されました。

心よりお慶び申し上げます。

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

遠賀町議会議員一同



前列左から

浜岡 峯達  
古野 修  
堅田 繁  
奥村 守  
舩添 清美  
三原 光広  
二村 義信

後列左から

萩尾 修身  
中野 嘉徳  
平見 光司  
萩本 悦子  
織田 隆徳  
加藤 陽一郎  
仲野 新三郎

**発行責任者** 議長 奥村 守

**広報調査 特別委員会**

**委員長** 萩本 悦子

**副委員長** 平見 光司

**委員** 織田 隆徳  
仲野 新三郎  
加藤 陽一郎  
萩尾 修身

### 遠賀議会だより

今回の定例会は **3月です。**

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は2月下旬に町ホームページでお知らせします。

**議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。**

遠賀町議会事務局 TEL 093(293)1235  
e-mail : gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp



今年辰年です。辰年は成長や発展の年だと言われています。また今までの努力や忍耐が整い、具体的な形になっていく年ともいわれています。

昨年是一年を表す漢字に「絆」という字が選ばれました。これは震災を通じて家族の絆・友達の絆・地域の絆というものを国民があらためて強く感じさせられた結果だと思えます。

遠賀町でも年々希薄になっていく「絆」をより強固なものにできるようなまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。遠賀町の発展の為に、議会と行政そして町民の皆さんが一丸となって成長していける年となることを切願します。

仲野 新三郎